

Japan CAP Training & Action

一般社団法人 J-CAPTA

はじめに

J-CAPTA は日本で2つ目のCAPトレーニングセンターとして2009年4月に設立しました。すべての子どもたちが安心して、自分を大切な存在と感じ、自ら行動選択ができるよう、子どもの視点からの人権尊重とエンパワメントに徹した教育活動の展開と、子ども共同参画社会を目指すアクション事業活動を行っています。また震災後には震災支援プロジェクト「不安を勇気に転ずるCAPのちから～JCAP311Project」を立ち上げ、地震、津波、原発事故の被災・避難地域でのCAP活動支援を通して、子どもの生きる力を支える取り組みを続けています。

設立から5年が経ちました。15道県のCAP実践団体と協力して開催したアクション・ネットワーク事業は7都道県8ヵ所9回、養成講座は14道県37回となりました。CAPグループの参画と協働がCAP活動の活性化とグループ間のつながりを強くしました。この3年間はJCAP311Projectを事業の中心としてCAPの広報・普及、関係機関との連携を進めてきました。これからの5年10年に向けて、社会的責任期におけるCAP活動の意義と必要性を再確認し共に進めていきましょう。

	2013	2012	2011	2010	2009
正会員・準会員 アクション・支援会員	44グループ・500人 39人・19人	46グループ・470人 51人・10人	46グループ・513人 51人・16人	46グループ・417人 51人・13人	46グループ・439人 43人・10人
ワーク数・参加者数	1,415回 31,686人	1,547回 33,198人	1,534回 33,814人	1,711回 40,530人	1,967回 49,795人
アクションネットワーク 事業 総会事業 (開催地/テーマ)	北海道函館市 97人 「子どもの中に安心を 育む、主体性と身体性 の相互作用」 講演:森田ゆり インタ ビューアー:宮地迪彦	福島県いわき市 71人 「福島から未来をつな ぐ～やさしく生きたい、 子どもの心に寄り添っ て」 講演:青木悦	宮城県仙台市 77人 「仙台から希望の発信 を～ひとりぼっちじゃ ないよ、社会的養護の 視点から」 講演:坪井節子	千葉県我孫子市 150人 「今を生きる子ども たち～その理解と支 援」 対談:青木悦 & 田中 康雄	北海道札幌市 108人 「子ども共同参画社会 の実現に向けて、CAP の役割」/新潟県新 潟市 120人「子ども人 権運動とフェミニズム をつなぐCAPの思想」
アクションネットワーク 事業 フォーラム (開催地/テーマ)	宮城県仙台市 39人 「子どもの生きる力を 支える～震災後 2年 半の現状とこれから」	青森県弘前市 45人 「障がいのある子ども を暴力から守るために ～震災を経て、今必要 なこと」	長野県長野市 62人 「子どもの性の安全～ 被害と加害」	東京有楽町朝日ホール 500人 「子どもの声に耳を傾けること「子ども被害者学」 のススメ」基調講演:デービッド・フィンケルホー *2010朝日新聞厚生文化事業団共催事業	
トレーニングセンター (RTC)事業 人材養成講座	5回 112人 秋田市、富山市、長岡 市、郡山市、札幌市	3回 77人 木更津・福島・山田町	6回 114人 那須・新潟・盛岡・仙 台・金沢・函館	3回 48人 塩尻・つがる・いわき	4回 69人 札幌・庄内・長野・つく ば
トレーニングセンター (RTC)事業 実践者向講座	4回 78人 長野 T・福島 P・盛岡 T・八戸 SNP	4回 86人 仙台 P・いわき T・金沢 P・水戸 SNP	2回 40人 秋田 T・札幌 P	3回 70人 船橋 T・上越 SNP・柏 R	3回 75人 盛岡 P・金沢 T・千葉 SNP

人材養成講座=CAPスペシャリスト養成講座、

実践者向講座:P=就学前プログラム、T=中学生暴力防止プログラム、SNP=スペシャルニーズプログラム、R=リーダーズ研修

2013年度ハイライト

- ▶JCAP311Project3年終了
- ▶トレーナー養成制度動き出す
- ▶「いじめ防止対策推進法」へのソーシャルアクション
- ▶養成講座開催への対策試行
- ▶児童養護施設プログラム増

2014年度方針

- ▶トレーナー養成制度の推進
- ▶アクション・ネットワーク事業で、つながる、広げる、行動する
- ▶JCAP311Project-2014

一般社団法人 J-CAPTA

2013 年度事業報告 (2013 年 6 月 1 日から 2014 年 5 月 31 日まで)

JCAP311Project は継続 3 年目となり 3 県の CAP 活動支援を中心に、2013 年度事業を推進しました。そして J-CAPTA 発足から 5 年が経ち、新たなトレーナー養成制度が動き出しました。また「いじめ防止対策推進法」への地域グループと連動したソーシャルアクションを行いました。これまで赤字事業となっていた養成講座(ベーシック)開催基準、経費等の見直しとグループの養成講座受講者増への取り組みにより RTC 事業の収支状況が改善されました。児童養護施設プログラムに取り組むグループが増え普及が進みました。

1. アクション・ネットワーク事業

① 子どもの人権擁護・暴力防止に関する学習・啓発

事業名	開催日	テーマ	開催地	協力グループ	参加人数
総会記念講演会	8 月 24 日	「子どもの中に安心を育む主体性と身体性の相互作用」 講師: 森田ゆり、インタビュー: 宮地迪彦	北海道函館市	CAP みなみ・北海道	参加者 97 人
フィンケルホー記念フォーラム	10 月 26 日	「子どもの生きる力を支える～震災から 2 年半の現状とこれから」 パネリスト: 元木幸市、小野道子、石附幸子	青森県弘前市	CAP みやぎ	参加者 39 人

<コメント> 総会事業とフィンケルホー記念事業は、地域グループの立候補によって開催地が決定されます。地域での CAP の広報、子どもの人権や福祉、教育、虐待防止等に関わる関係機関や、多くの人々とネットワークをつなげる機会としての活用が期待されます。フィンケルホー記念フォーラムは JCAP311Project と連動した事業となりました。

② 子どもの教育・福祉行政および人権擁護の法制度や政策への提言・活動

9 月 24 日	文部科学省初等中等局長訪問「いじめの防止等のための基本的な方針」に対する要望書を提出	東京都	石附・木村
11 月 18 日	児童養護施設大洋学園訪問／CAP リアス & J-CAPTA * ユニセフ連携事業	岩手県大船渡市	石附
4 月 21 日	岩手県教育委員会等行政訪問／CAP 岩手 & 日本ユニセフ協会 & J-CAPTA * ユニセフ連携事業	岩手県盛岡市	石附・木村
4 月 22 日 6 月 12-13 日	岩手県沿岸地域行政訪問／CAP リアス & 日本ユニセフ協会 & J-CAPTA * ユニセフ連携事業	岩手県宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市・住田町	石附

<コメント> 文科省に「いじめ防止等のための基本的な方針」に対する要望書を提出し基本方針に「いじめ問題対策連絡協議会の設置」に「民間団体」が盛り込まれました。その後グループが「地方いじめ防止基本方針への要望書」を提出する動きをおこしました。また地域グループに同行し行政関係機関を訪問し CAP の広報に努めました。

③ 国内および世界の子どもの人権擁護、暴力防止等類似の目的を持つ団体・個人との連携

助成・連携事業	フィリップモリス・ジャパン社	児童養護施設プログラム	3,500,000 円
	日本ユニセフ協会 (ユニセフ連携)	宮城・岩手・福島～子どもエンパワメント CAP プロジェクト 2013	4,888,273 円
講師派遣	9 月 29 日	講演/CAP 滋賀「障がいのある子どもへの CAP プログラム公開研修	滋賀県近江八幡市 木村
団体訪問・会議出席等	12 月 13・14 日	日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN) 信州大会 パネル展示・分科会企画発表	長野県松本市 木村・西野 石附・山根
	10 月 11-14 日	韓国 CAP トレーニングセンター訪問	韓国ソウル市 高野監事 木村・石附

<コメント>フィリップモリス・ジャパン社助成(CCJ)と共同は 6 年目、ユニセフ連携は 3 年目と継続されました。日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN) 信州大会では、長野県グループ、長野県の児童相談所職員、児童養護施設長と連携して「児童養護施設における暴力防止教育—長野県での CAP の実践」について報告しました。J-CAPTA として初めて韓国 CAP を訪問し、韓国 CAP センターでの意見交換、ソウル市内小学校での子どもワークショップ見学等、交流を深めました。J-CAPTA 会員 11 人が参加しました。

④ CAP に関する情報提供・広報

ホームページ更新	7 月 1 日 12 月 1 日	
ブログ更新		アクセス
6 月 1 日	「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 長野」間もなく開催	833
6 月 8 日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 秋田」開催	
6 月 11 日	「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 長野」終了	
6 月 22 日	「CAP 就学前プログラム養成講座 in 福島」開催	
7 月 15 日	お知らせ: J-CAPTA 総会事業のご案内	770
8 月 7 日	JCAP311Project3 年目	785
8 月 27 日	函館で CAP の原点再確認～J-CAPTA 総会事業終了しました	
9 月 30 日	お知らせ: フィンケルホー記念～子どもへの暴力防止フォーラム 2013 in 仙台	813
10 月 8 日	報告: 文部科学省に「いじめの防止等のための基本的な方針」に対する要望書を出しました。	938
10 月 25 日	報告: CAP スペシャリスト養成講座 in 富山、終了しました	
10 月 31 日	報告: フィンケルホー記念フォーラム終了しました	
11 月 12 日	お知らせ: 「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 盛岡」開催	809
11 月 30 日	お知らせ: 「CAP スペシャリスト養成講座 in 郡山」開催	
12 月 10 日	お知らせ: 「JaSPCAN 信州大会」に参加します	706
12 月 18 日	報告: 「日本子ども虐待防止学会第 19 回学術集会信州大会」に参加しました	
12 月 26 日	報告: 「CAP スペシャリスト養成講座 in 郡山」終了	
12 月 31 日	2013 年の終わりに	
1 月 17 日	CAP スペシャリスト養成講座 in 長岡(実践編) 終了	857
2 月 23 日	お知らせ: 「CAP スペシャリスト研修 in 長野」開催	792

3月14日	お知らせ:「CAP スペシャリスト養成講座 in 札幌」開催	679
3月31日	報告:CAP スペシャリスト養成講座 in 札幌基礎編、34人が修了	
4月24日	報告:JCAP311Project ユニセフ連携事業 3 県ミーティング「3 年報告会」開催	904
5月26日	お知らせ:「SNP 養成講座 in 八戸」開催	969
メディアの掲載等	日本ユニセフ協会 ホームページ東日本大震災支援情報 第 231 報「2014 年度の支援内容を、行政やパートナー団体と確認 4 年目の CAP プログラム」 日本ユニセフ協会緊急・復興支援活動 3 年レポート	

〈コメント〉 ホームページへのアクセスが微増、一般の方への養成講座等の事業開催広報はブログを通して行っています。地域での広報から J-CAPTA ホームページへ、そして養成講座やワークショップの問い合わせへとつながっています。

⑤ 子どもへの暴力防止および CAP に関連する刊行物の出版、グッズの作成

テキスト	CAP 児童養護施設プログラム実施ガイド	増刷
	CAP 教職員ワークショップ冊子	増刷
グッズ	パンフレット「CAP 児童養護施設プログラム」 *フィリップモリス助成	2013 年 8 月発行
	J-CAPTA オリジナルフリーペーパー	増刷
	おとな用復習教材「CAP 読本」	増刷
	子ども用復習教材「きっておって CAP」	増刷
レポート	子どもへの暴力防止 CAP 白書 2013「J-CAPTA レポート」	2014 年 1 月発行

〈コメント〉被災県での CAP 児童養護施設プログラムの普及を目的にパンフレットを作成しました。広報だけでなく打ち合わせや、児童養護施設職員ワークショップ、地域セミナーの資料としても活用されました。また念願の J-CAPTA レポートを発行、特集は「いじめと CAP」。地域グループの資料と共に地域での広報に活用されています。

2. RTC 事業

① CAP スペシャリスト養成講座

講座種別	開催日	開催地	協カグループ	トレーナー(事務局)	参加人数
基礎編	6月28・29・30日	秋田県秋田市	CAP あきた	石附・木村	受講者 11 人・FU6 人
実践編	8月31日 9月1日			石附	受講者 11 人・FU6 人
基礎編	8月2・3・4日	富山県富山市	富山 CAP	石附・木村	受講者 11 人・FU6 人
実践編	10月19・20日			石附・(木村)	受講者 9 人・FU3 人
基礎編	11月22・23・24日	新潟県長岡市	CAP・にいがた	石附・木村	受講者 13 人・FU3 人
実践編	1月11・12日			石附	受講者 13 人・FU3 人
基礎編	12月20・21・22日	福島県郡山市	CAP こおりやま *福島県 子どものこころのケア事業	石附・木村	受講者 43 人・FU8 人
実践編	2月1・2日			石附・(木村)	受講者 39 人・FU9 人
基礎編	3月21・22・23日	北海道札幌市	北海道 CAP をすすめる会	石附・木村	受講者 34 人・FU6 人
実践編	4月26・27日			木村・(山根)	受講者 32 人・FU10 人

プレ	7月27・28日	福島県福島市	こどもCAP Fukushima	石附・木村	受講者 35人・FU10人
ティー ンズ	6月8・9日	長野県長野市	CAP ながの	石附・西野 (木村)	受講者 15人・FU10人
	11月16・17日	岩手県盛岡市	CAP 岩手	石附・西野 (木村)	受講者 19人・FU6人
SNP	5月31日 6月1日	青森県八戸市	CAP わらしっこ	木村・(石附)	受講者 9人・FU9人
トレーナ ー養成	/	/	/	/	/

<コメント>8月総会以降のベーシック養成講座開催について規定の参加者数に達しない場合の開催基準を設けました。参加者の多い会場もあり、その戦略を J-CAPTA で共有し今後に活かしたいと思います。東日本大震災支援「福島県子どものこころのケア事業」としてCAPスペシャリスト養成講座が指定され、福島県では震災後2カ所目となる郡山市で開催しました。

② CAPスペシャリスト (SP) 研修

開催日	テーマ	開催地	協力グループ	参加人数
8月25日	全体研修：「グループ運営をチェックする！～多様な資源を獲得するために」講師：川北秀人	北海道函館市	CAP みなみ・北海道	受講者 70人
	選択研修：A「発信力をたかめるために白書をだそう」：講師：川北秀人、選択研修 B「質の高いワークショップを目指す」：トレーナー石附幸子、選択研修 C「CAPの源流を語る」：講師：森田ゆり			
10月27日	「おとなワークショップ～土台と骨組み、成功のカギ」：トレーナー石附幸子	宮城県仙台市	CAP みやぎ	受講者 21人
3月1日	児童養護施設プログラム「地域セミナー」	長野県佐久市	CAP 里山	受講者 36人
3月2日	「子どもの性的問題行動の理解と対応」 ：トレーナー西野緑	長野県長野市	CAP ながの	

<コメント>川北理事の研修は3年目、社会的責任期と位置付けた J-CAPTA 発足からの取り組みが継続研修により積み重なっています。研修をグループ運営に活かし、白書の作成、連携、スタッフ増加などの効果の声が寄せられました。また研修後に情報共有のための会員限定のフェイスブックを開設しました。スペシャリスト研修はCAP児童養護施設プログラムを取り上げました。

③ テクニカル・アシスタンス(TA)、講師派遣等

グループ名	実施日	内容	開催地	担当
CAP リアス	6月16日	幼稚園保護者ワークショップ	岩手県山田町	石附・木村
	6月17日	学童指導員障がいのある子どもへのCAPワークショップ	岩手県陸前高田市	木村・石附
	8月8日	保育園保護者ワークショップ	岩手県山田町	石附
	10月23-25日	幼稚園教職員・子どもワークショップ、小学校保護者ワークショップ	岩手県山田町	石附
	11月13-15日	保育園教職員・子どもワークショップ	岩手県山田町	石附
	11月18日	主任児童員おとなワークショップ	岩手県大船渡市	石附
	1月9日	教職員ワークショップ	岩手県大船渡市	石附
	2月17日	児童養護施設職員ワークショップ	岩手県大船渡市	石附
CAP こおりやま	6月19・24日	中学校子どもワークショップ	福島県郡山市	石附
	6月20日	中学校教職員ワークショップ	福島県郡山市	石附

	9月29日 11月16日 5月8・13日 5月9日 5月28-30日	中学校保護者ワークショップ 教職員組合教職員ワークショップ、おとなワークショップ学習会 中学校子どもワークショップ 小学校教職員ワークショップ 小学校 SNP 子どもワークショップ	福島県郡山市 福島県郡山市 福島県郡山市 福島県浅川町 福島県浅川町	石附 木村 石附 木村 木村
富山 CAP	7月6日 3月8日	公開おとなワークショップ&座談会 教職員ワークショップ	富山県富山市 富山県富山市	石附 石附
CAP ぼけっと	7月10日 11月11日	母子支援施設職員ワークショップ ティーンズファシリテート研修	千葉県千葉市 千葉県千葉市	石附 石附
CAP いわき	7月15日	公開教職員ワークショップ	福島県いわき市	西野
CAP のと	7月31日	教職員ワークショップ	石川県羽咋市	石附
あいづ CAP	8月22日 9月6・9日 9月20日 12月11・17日 1月28日	中学校教職員ワークショップ 中学校保護者・子どもワークショップ 中学校保護者ワークショップ 中学校子どもワークショップ 児童養護施設職員ワークショップ	福島県会津若松市 福島県会津若松市 福島県会津若松市 福島県会津若松市 福島県会津若松市	石附 石附 石附 石附 石附
CAP みちのく	11月1-4日 2月24-28日	大学生ワークショップ、児童養護施設職員・子どもワークショップ、おとなワークショップ研修 幼稚園保育園教職員・保護者・子どもワークショップ	青森県弘前市 青森県大鰐町	石附 石附
こども CAP ふくしま	11月16日 12月8日 4月15-16日	ティーンズワークショップ学習会 公開ティーンズプログラムおとなワークショップ 中学校子どもワークショップ	福島県福島市 福島県福島市 福島県福島市	木村 石附 石附
CAP いばらき	12月12日	スペシャルニーズプログラム教職員ワークショップ	茨城県茨城町	木村
子どものけんり CAP いしかわ	12月27-28日	母子生活支援施設子どもワークショップ	石川県金沢市	石附
CAP あきた	1月18-19日	児童養護施設子どもワークショップ	秋田県秋田市	石附
CAP ももくり さんねん	2月25日	特別支援学校保護者・教職員ワークショップ	千葉県いすみ市	木村
CAP わらしこ	5月30日	公開ティーンズプログラムおとなワークショップ	青森県十和田市	木村

<コメント>テクニカル・アシスタンス(TA)はトレーナーによるグループへのワークショップ支援や研修です。グループが初めて取り組むプログラムや児童福祉施設、特別支援学校でのTAが多く、実践の現場を通してグループのスキルアップ、モチベーションの向上につながりました。3県グループはJCAP311Projectとして実施しました。

④グループ訪問

9月29日 10月27日	CAP ぼけっとと会議	東京都	石附・木村
--------------	-------------	-----	-------

<コメント>グループからの要請でグループ訪問を行いました。

⑤ フィリップモリス・ジャパン社助成事業

グループ名	施設数	WS 数	参加人数
北海道 CAP をすすめる会	2	11	129
CAP みちのく	1	2	26
CAP あきた	2	12	174
CAP 岩手	2	4	46
CAP リアス	1	1	17
CAP みやぎ	4	19	184
あいづ CAP	1	5	55
CAP こおりやま	1	1	24
CAP 庄内	1	6	110
CAP ぽけっと	1	5	75
CAP ももくりさんねん	1	3	59
CAP なのはな	1	1	16
ENJOY CAP	1	4	47
CAP・にいがた	4	12	157
CAP しなの	1	3	38
CAP 里山	2	12	170
CAP ながの	9	35	394
10 道県 17 グループ	35	136	1721

<コメント>2013 年度は震災支援 3 県の児童養護施設プログラム普及を目的として 100 万円および広報費 25 万円を含む 350 万円でした。(前年度比 1.5 倍)。希望するすべてのグループに配分するために J-CAPTA 助成基準を設けて 17 グループに配分しました。基準を設けることで新規施設と 3 県施設での実施の拡大を図り、グループ独自の継続実施のための努力と自治体や施設との連携を強めることにもつながりました。実施数は前年度より 10 施設、43 ワークショップ、参加者数 483 人増で約 1.4 倍となりました。うち新規施設は 9 施設でした。3 県では 5 グループ、9 施設、30 ワークショップ、参加者数 326 人でした。岩手県と福島県では初めて児童養護施設でのワークショップが実施されました。広報パンフレットは施設職員ワークショップや地域セミナーの資料として、また広報にも広く活用されました。地域セミナーの普及に力を入れ、長野県軽井沢学園での地域セミナーをスペシャリスト研修に指定し、トレーナーが講師を務めました。長野県での実績は児童養護施設プログラム普及のモデルとなっています。限られた助成額の中、また助成事業終了後もグループが独自に事業継続していくために財源の確保が必要です。

3. 会議開催、ニュース発行等

① 会議の開催

会議名	実施日	開催地	参加者
定時総会	8 月 24 日	北海道函館市	出席正会員数 37(全 43)
理事会	8 月 24 日 ・代表理事選任の件・2013 年度事業主要事業担当理事の件	北海道函館市	新田理事、宮地理事、川北理事、竹之下理事、石附理事、森田前理事長、(事務局 木村、山根)
	5 月 25 日 ・2013 年度事業・会計状況、会員動向について報告 ・定時総会開催の件 ・トレーナー養成の件 ・その他	新潟県新潟市	新田理事長、宮地理事、川北理事、竹之下理事、石附理事、(事務局 木村)
トレーナー会議	11 月 17 日・養成講座の内容、JaSPCAN 発表について	岩手県盛岡市	石附・木村・西野
	3 月 3 日・トレーナー養成について	長野県長野市	石附・木村・西野
事務局会議	8 月 25 日、10 月 26 日、12 月 14 日、4 月 28 日		

<コメント>総会 1 部 2 部方式を取り入れ、2 部では重点課題であるトレーナー養成制度について話し合いました。役員の任期満了に伴

い新たな理事・監事が加わり、各事業担当理事により事業が推進しました。

② RTC 関連

RTC 間協力会合	/	/	/
ICAP	随時メールで連絡		
その他	韓国 CAP(11月11-14日訪問、随時メールで連絡)		

<コメント>RTC 間協力会合(J-CAPTA と CCJ の合同会議)は、2012 年度 2013 年度は開催していませんが、随時メールや電話で情報共有等を行っています。

③ ニュースの発行

J-CAPTA ニュース 23 号	7 月 5 日発行	1. 活動報告 2. 総会事業案内 3. JCAP311Project<報告 9> 4. J-CAPTA のこだわり (その 18. 日本におけるティーンズプログラムの誕生と発展~ティーンズプログラムの開発に関わって) 5. Q&A 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 24 号	10 月 10 日発行	1. 活動報告 2-3. 総会報告 4-5. 写真で見る総会事業報告 6-7. 総会記念インタビュー講演録 8. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 25 号	1 月 25 日発行	1. 活動報告 2. 活動トピックス 3. JCAP311Project<報告 10> 4. J-CAPTA のこだわり (その 21. 「いじめ防止法対策推進法」と CAP~地域グループと共にソーシャルアクション!) 5. Q&A 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 26 号	5 月 5 日発行	1. 活動報告 2-3. J-CAPTA のこだわり (その 22. CAP は世界共通! ~日本におけるシナリオの変遷) 4. JCAP311Project<報告 11> 5. Q&A 6. インフォメーション

<コメント>J-CAPTA ニュースは RTC と会員一人一人をつなぐ重要なツールです。J-CAPTA の動向、事業の進捗状況、スペシャリストとして必要な情報、ワークショップ実施するにあたっての質問への返答等に加えて、CAP の歴史や経緯や意義についても情報発信しました。準会員にはグループへ一括送付していますので、グループから会員一人一人へ届け、活用されることを期待しています。

④ メルマガの配信

No.91	6 月 2 日	「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 長野」開催間近
No.92	6 月 19 日	2013 年度児童養護施設プログラム実施報告書および 2013 年度 JCAP311Project ワークショップ実施報告書提出のお願い
No.93	6 月 20 日	「CAP 就学前プログラム養成講座 in 福島」開催のお知らせ
No.94	6 月 27 日	2013 年総会事業のお知らせ
No.95	7 月 17 日	J-CAPTA ニュース 23 号発送のお知らせ
No.96	8 月 12 日	2013 年総会資料発送のお知らせ
No.97	9 月 2 日	2013 年総会事業終了しました
No.98	9 月 28 日	フィンケルホー記念~子どもへの暴力防止フォーラム 2013 in 仙台のお知らせ
No.99	10 月 7 日	「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 盛岡」開催のお知らせ
No.100	10 月 15 日	フィンケルホー記念フォーラム 間もなく開催
No.101	10 月 17 日	「いじめ防止対策推進法」に対する地域でのアプローチ
No.102	10 月 21 日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 長岡」開催のお知らせ
No.103	10 月 23 日	J-CAPTA ニュース第 24 号発送のお知らせ
No.104	11 月 1 日	フィリップモリス助成事業についての緊急連絡

No.105	11月16日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 郡山」開催のお知らせ
No.106	12月5日	CAP スペシャリスト養成講座 in 郡山」フォローアップ 受講のお誘い
No.107	12月10日	「JaSPCAN 信州大会」参加のお知らせ
No.108	12月29日	年末年始休みと2014年講座情報
No.109	1月21日	「トレーナー養成制度に関する修正案」の送付
No.110	1月23日	養成講座開催希望アンケート2014のお知らせ
No.111	2月6日	「J-CAPTA ニュース 25号」発送のお知らせ
No.112	2月9日	CAP スペシャリスト研修 in 長野のご案内
No.113	3月6日	「トレーナー養成制度修正案への意見」3月7日で締め切りのお知らせ
No.114	3月14日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 札幌」のお知らせ
No.115	4月5日	「ワークショップ実施アンケート2013」と「J-CAPTA 登録票2014」のご提出のお願い
No.116	4月18日	2014年度養成講座開催速報
No.117	4月18日	「トレーナー養成制度再修正案(2014年4月)」
No.118	4月22日	フィリップモリス社助成2014募集のお知らせ
No.119	4月25日	「SNP 養成講座 in 八戸」のお知らせ
No.120	5月13日	「フィリップモリス助成2014」申込受付の確認のお願い
No.121	5月23日	「フィリップモリス助成2014」助成決定のお知らせ

<コメント>メルマガは主にグループへの情報発信のツールとして使っています。主に事業開催案内や事務的連絡などですが、緊急を要するものや重要な連絡もありますので、常に確認をお願いいたします。No121をNo200として配信しましたが間違いでした。

4. JCAP311Project

①ワークショップ実績

<3県でのワークショップ実績>

ワークショップ 実績3県2013	子どもワークショップ		おとなワークショップ		合計		実施地域
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
岩手県	40	768	8	101	32	667	*盛岡市、一関市、宮古市、釜石市、大船渡市、北上市、奥州市、陸前高田市、岩手町、大槌町、山田町、滝沢村
宮城県	135	3222	81	1919	54	1303	*仙台市、石巻市、大崎市、気仙沼市、名取市、塩釜市、多賀城市、東松原市、富谷町、松島町
福島県	127	2824	62	1396	65	1428	福島市、相馬市、郡山市、本宮市、会津若松市、喜多方市、いわき市、白河市、二本松市、鏡石町
2013年度合計	151	3416	151	3398	302	6814	前年度比1.3倍・2001年度比2.2倍
2012年度合計	107	2207	133	2864	240	5071	前年度比1.8倍
2011年度合計	67	1538	69	1611	136	3149	/

<311Project によるワークショップ提供>

ワークショップ実績	子どもワークショップ		おとなワークショップ		合計		提供先
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	箇所
ユニセフ連携事業	58	1341	94	2115	152	3456	75
311 支援金	9	120	18	464	27	584	14
合計	67	1461	112	2579	179	4040	89

② スタッフ養成

項目	対象	受講者数	SP 認定
CAP スペシャリスト養成講座受講料免除	岩手県・宮城県・福島県に居住の方	4	4
	学生 311 支援(3 県以外)	7	5
CAP 就学前プログラム養成講座 in 福島交通費補助	岩手県沿岸地域に居住の方	1	/
CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 盛岡交通費補助	福島県全域岩手県沿岸地域に居住の方	6	/

③311 ミーティングの開催

実施日	名称	参加者	開催地	担当
6 月 15 日	岩手 311 ミーティング	19 人:CAP 岩手、CAP リアス、日本ユニセフ協会、	岩手県 山田町	石附・木村
6 月 22 日	宮城 311 ミーティング	13 人:CAP みやぎ、「こどものあんしん・じしん・じゆう」を 考える CAP の会、CAP 歩歩、日本ユニセフ協会、	宮城県 仙台市	石附・木村
6 月 23 日	福島 311 ミーティング	13 人:こども CAP ふくしま、CAP こおりやま、あい づ CAP、CAP いわき、日本ユニセフ協会、	福島県 郡山市	石附・木村
10 月 26 日	3 県合同ミーティング	28 人/CAP みやぎ、CAP 岩手、CAP リアス、こど も CAP ふくしま、あいづ CAP、日本ユニセフ協会、 J-CAPTA 会員	宮城県 仙台市	石附・木村 竹之下理事
4 月 20 日	3 年報告会	26 人/CAP 岩手、CAP リアス、CAP みやぎ、CAP 歩歩、CAP こおりやま、こども CAP ふくしま、あい づ CAP、日本ユニセフ協会、岩手ユニセフ協会	岩手県 盛岡市	石附・木村

④ ワーク応援隊の派遣

・3 県グループへのトレーナー派遣(2-③TA)は、ワーク応援隊手当基準にて実施した。

⑤ グッズの頒布

・3 県すべてのワークショップで、J-CAPTA & ユニセフ共同作成「きっておって CAP」「CAP 読本」および「CAP 教職員ワーク
ショップ冊子」を無料頒布。

・フィリップモリス助成「パンフレット CAP 児童養護施設プログラム」、J-CAPTA 作成「フリーペーパー」を無料頒布。

<コメント> JCAP311Project3 年目は、ユニセフ連携事業、フィリップモリス助成事業、311 支援金により、3 県内のすべての CAP ワークシ
ョップの無料提供を実施しました。3 県でのワークショップ実績は、2011 年度比で岩手県 2.4 倍、宮城県 1.6 倍、福島県 3.4 倍となりました。

また 311 支援により 3 県居住の方の CAP スペシャリスト養成講座受講料を無料とし、福島県では「福島県子どものこころのケア事業」として CAP スペシャリスト養成講座が開催されました。ユニセフ連携事業により福島県と岩手県・宮城県の沿岸地域居住の CAP スペシャリストの就学前プログラム、中学生暴力防止プログラム資格取得のための交通費を補助しました。ワークショップ資料、広報資料も無料で頒布しました。3 年継続支援終了後を見据えて、CAP 活動を持続可能にするために地域行政との連携を目指しました。グループ相互でスタッフを要請しあいグループ間協力が進みました。岩手県沿岸地域で CAP 実践グループ「CAP リアス」が正式発足しました。

5. トレーナー養成制度

実施日	内容
8 月 24 日 総会 2 部	「トレーナー養成事務局案」提案、新しいトレーナーの卵数名の誕生を実現するための話し合いと発表 北海道(5 グループ参加/全 8) 函館 YWCA・CAP グループ、CAP・みなみ北海道、北海道すすめる会、十勝 CAP そらの駅、CAP むろらん 東北 6 県(12 グループ参加/全 16) CAP わらしっこ、CAP ネット青い森、CAP つがる、CAP みちのく、CAP 岩手、CAP リアス、CAP みやぎ、CAP 歩歩、こども CAP ふくしま、CAP こおりやま、CAP あいづ、CAP いわき 北関東 4 県(5 グループ参加/全 8) CAP いばらき、CAP ぼけっと、CAP なのはな、ENJOY CAP、CAP ももくりさんねん、 中部 4 県(5 グループ参加/全 12) CAP・にいがた、富山 CAP、のと CAP、CAP ながの、かたつむり
10 月 16 日	会員ミーティングにてトレーナーの要件について意見交流(15 グループ参加)
1 月 20 日	「トレーナー養成制度に関する修正案」配信、下記 29 グループが回答(うち賛成と再修正案あり賛成が 28) 北海道(6 グループ回答/全 8) 函館 YWCA・CAP グループ、北海道 CAP をすすめる会、CAP あさひかわ、CAP オホーツク、十勝 CAP そらの駅、CAP むろらん 東北 6 県(11 グループ回答/全 16) CAP わらしっこ、CAP ネット青い森、CAP 岩手、CAP みやぎ、CAP 歩歩、CAP あきた、CAP やまがた、こども CAP ふくしま、CAP こおりやま、あいづ CAP、CAP いわき 北関東 4 県(6 グループ回答/全 8) CAP いばらき、CAP ぼけっと、CAP なのはな、ENJOY CAP、あわ CAP、CAP ももくりさんねん 中部 4 県(6 グループ回答/全 12) CAP じょうえつ、CAP・にいがた、富山 CAP、CAP ながの、CAP しなの、CAP かたつむり
4 月 17 日	「トレーナー養成制度に関する再修正案(2014 年 4 月)について」 配信
5 月 16 日	「トレーニング・リーダーの選出について」 配信

<コメント> 昨年の総会 2 部においてトレーナー養成制度担当川北理事のファシリテートにより、トレーナー誕生に向けて様々な意見が出されました。それらの意見を検討し、あらたにトレーナー養成制度に関する修正案が提案されました。さらに修正案に対する会員からの意見を盛り込み再修正案としてまとめ、トレーナー養成制度がよいよ動き出しました。

6. 会員・役員等

会 員	正会員: 43 グループ	準会員: 495 人	アクション会員	支援会員: 19 人
寄 付	個人: 10 人、団体: 2、その他事業会場でのカンパ			
役 員	理事長: 新田初美 理事: 宮地迪彦、川北秀人、竹之下典祥、石附幸子 監事: 坪井節子、高野真砂子 会計顧問: 渡邊信子			
トレーナー	森田ゆり、石附幸子、木村里美、西野緑			
事務局	チーフディレクター: 木村里美、トレーニングディレクター: 石附幸子、事務局スタッフ: 山根若子			

<ワークショップ実績>

ワークショップ 集計	子どもワーク		おとなワーク		合計		備考
	回数	人数	回数	人数	ワーク数	参加者数	グループ数
全国合計 (1997-2013)	104,997	3,046,670	54,497	1,870,455	159,474	4,917,125	131
J-CAPTA 2013年度(4-3月)	797	18,316	618	13,370	1,415	31,686	44

以 上